

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月14日

上場会社名 本州化学工業

上場取引所 東

コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 武田 靖弘

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 和智 達也

TEL 03-3272-1482

四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	5,212	—	770	—	834	—	458	—
20年3月期第1四半期	4,636	△7.1	567	△34.4	529	△33.6	261	△39.2

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第1四半期	39.93		—	
20年3月期第1四半期	22.77		—	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第1四半期	25,563		12,775		43.2		961.33	
20年3月期	24,113		12,133		43.8		919.32	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 11,041百万円 20年3月期 10,559百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	9.00	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	6.00	—	9.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	10,640	—	970	—	970	—	450	—	39.18
通期	21,930	12.9	1,920	8.1	1,800	5.7	930	21.2	80.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名)

除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 11,500,000株 20年3月期 11,500,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 14,212株 20年3月期 14,107株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 11,485,871株 20年3月期第1四半期 11,488,159株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループを取り巻く当第1四半期連結会計期間の事業環境は、原油の急騰により原材料価格が高騰し続けたため、収益圧迫要因を抱えた先行き不透明感の強い厳しいものとなりました。

このような状況のもとで、当社グループは、収益の改善・向上を図るため、業務全般にわたるコストダウンの徹底を図るとともに、原材料価格の上昇に見合った販売価格の改定や既存製品の拡販、開発品の育成・強化に努めてまいりました。

その結果、売上高は5,212百万円となり、営業利益は770百万円、経常利益は834百万円、四半期純利益は458百万円となりました。

部門別の販売状況は、次のとおりであります。

#### <高機能樹脂原料>

##### ・ビフェノール

ビフェノール〈パソコン、携帯電話等のIT関連機器やデジタル家電の電子部品に用いられる耐熱性、精密成形性に優れた液晶ポリマー（LCP）の原料〉は、輸出が引き続き不調であったものの、国内需要が堅調に推移し販売数量が増加したため、売上高は前年同期に比べ増加しました。

##### ・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノール（耐熱性、光学特性に優れた特殊ポリカーボネート樹脂や特殊エポキシ樹脂の原料）は、主力のバイエル社向け製品（特殊ポリカーボネート樹脂用）の需要が緩やかながらも回復してきたため、売上高はほぼ前年同期並みとなりました。

この結果、高機能樹脂原料部門の売上高は1,673百万円となり、総売上高に占める割合は32.1%となりました。

#### <高機能化学品>

##### ・フォトレジスト材料

フォトレジスト材料〈半導体及びLCD（液晶ディスプレイ）の製造過程で使用〉は、LCD用の販売はほぼ前年同期並みでしたが、半導体用の販売が回復し販売数量が伸びたため、売上高は前年同期に比べ増加しました。

##### ・トリメチルフェノール

トリメチルフェノール〈主に家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料〉は、中国向けの輸出が堅調に推移し、また欧州向けの輸出については販売数量が若干減少しましたが、販売価格を改定することができたため、売上高は前年同期に比べ増加しました。

##### ・その他メタバラクレゾール誘導品

その他のメタバラクレゾール誘導品は、酸化防止剤用途の需要が増加したため、売上高は前年同期に比べ増加しました。

この結果、高機能化学品部門の売上高は、2,976百万円となり、総売上高に占める割合は57.1%となりました。

#### <その他化成品>

受託生産品等の売上高は、562百万円となり、総売上高に占める割合は10.8%となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,450百万円増加しました。

流動資産合計は、売掛金の増加（589百万円）、商品及び製品の増加（703百万円）等により、前連結会計年度末に比べて1,281百万円増加し、12,816百万円となりました。

固定資産合計は、有形固定資産の増加（158百万円）等により、前連結会計年度末に比べて169百万円増加し、12,747百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加（593百万円）、未払法人税等の増加（169百万円）、長期借入金の減少（207百万円）等により、前連結会計年度末に比べて809百万円増加し、12,788百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金の増加（355百万円）等により、前連結会計年度末に比べて641百万円増加し、12,775百万円となりました。

この結果、自己資本比率は43.2%となり、前連結会計年度末に比べて0.6ポイント低下しました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月15日に公表しました業績見通しの数字に変更はありません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

③連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告18号 平成18年5月17日）を適用しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,558	1,547
受取手形及び売掛金	5,587	4,998
商品及び製品	4,472	3,768
仕掛品	358	409
原材料及び貯蔵品	525	506
その他	313	303
流動資産合計	12,816	11,535
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	8,483	8,573
その他（純額）	3,173	2,925
有形固定資産合計	11,657	11,498
無形固定資産		
	202	190
投資その他の資産		
その他	890	892
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	887	888
固定資産合計	12,747	12,578
資産合計	25,563	24,113
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,385	2,792
短期借入金	3,970	3,940
未払法人税等	664	495
役員賞与引当金	5	21
その他	1,492	1,295
流動負債合計	9,517	8,544
固定負債		
長期借入金	2,104	2,311
退職給付引当金	1,054	1,018
役員退職慰労引当金	78	71
その他	32	32
固定負債合計	3,270	3,434
負債合計	12,788	11,979

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	8,071	7,716
自己株式	△8	△8
株主資本合計	10,576	10,221
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10	3
為替換算調整勘定	455	334
評価・換算差額等合計	465	337
少数株主持分	1,733	1,574
純資産合計	12,775	12,133
負債純資産合計	25,563	24,113

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	5,212
売上原価	3,960
売上総利益	1,251
販売費及び一般管理費	480
営業利益	770
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	2
受取補償金	113
その他	24
営業外収益合計	140
営業外費用	
支払利息	33
生産休止費用	36
その他	7
営業外費用合計	77
経常利益	834
税金等調整前四半期純利益	834
法人税等	314
少数株主利益	60
四半期純利益	458

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	834
減価償却費	435
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	36
受取利息及び受取配当金	△3
支払利息	33
売上債権の増減額 (△は増加)	△580
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△669
仕入債務の増減額 (△は減少)	593
その他	179
小計	843
利息及び配当金の受取額	3
利息の支払額	△47
法人税等の支払額	△141
営業活動によるキャッシュ・フロー	657
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△357
無形固定資産の取得による支出	△23
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△380
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△252
配当金の支払額	△88
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△341
現金及び現金同等物に係る換算差額	74
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10
現金及び現金同等物の期首残高	1,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,558

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	当四半期 (平成20年3月期第1四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	4,636
II 売上原価	3,586
売上総利益	1,049
III 販売費及び一般管理費	481
営業利益	567
IV 営業外収益	20
V 営業外費用	58
経常利益	529
税金等調整前四半期純利益	529
法人税、住民税及び事業税	266
法人税等調整額	△47
少数株主利益	48
四半期純利益	261

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区 分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	529
減価償却費	380
固定資産除却損失	10
役員賞与引当金の増減(△)額	△19
退職給付引当金の増減(△)額	△12
受取利息及び受取配当金	△12
支払利息	31
売上債権の増(△)減額	△163
たな卸資産の増(△)減額	△512
仕入債務の増減(△)額	518
その他	193
小計	944
利息及び配当金の受取額	12
利息の支払額	△52
法人税等の支払額	△253
営業活動によるキャッシュ・フロー	651
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△309
無形固定資産の取得による支出	△26
その他	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△336
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減(△)額	200
長期借入金の借入による収入	100
長期借入金の返済による支出	△348
配当金の支払額	△84
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	52
V 現金及び現金同等物の増減(△)額	233
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,175
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,409